

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 岐阜県温泉ガストロノミーウォーキング推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境企画課 環境企画係 電話番号：058-272-1111(内 2696)

E-mail：c11265@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000千円(前年度予算額：3,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
要求額	3,000	1,500	0	0	0	0	0	0	1,500
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

ガストロノミーウォーキングは、地域に根ざした食と自然、歴史などの魅力に触れることを目的とした欧米で流行している新たな旅のスタイルであり、日本ではこれに温泉を加えたONSEN・ガストロノミーツーリズムとして、(一社)ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構の支援のもと、全国的に開催されている。

本県は全国的に有名な下呂温泉(下呂市)や平湯温泉(高山市)など数多くの温泉を有している。しかし、自然の恵みである温泉や、周辺の豊かな自然環境といった地域資源を一体的に体験できる機会が少ない。

(2) 事業内容

温泉地を中心に歩きながら自然環境を体感し、その地域の歴史や文化等の魅力に触れる「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」に取り組む市町村等に対し、開催に要する経費の一部を助成する。

また、近年の環境に関する大きな課題であるプラスチックごみの排出量削

減に向け、プラスチック製品の使用を抑えたイベントの開催を支援し、環境に配慮したイベントのモデルケースとして県内への普及を図る。

岐阜県温泉ガストロノミーウォーキング推進事業費補助金

【補助対象者】市町村、民間団体等

【補助率】 1/2 以内

【上限額】 1,000 千円（1 団体あたり）

(3) 県負担・補助率の考え方

県内では開催実績が少なく、事業の立ち上げ及び定着に向けた支援が必要。また、開催により地域の活性化にもつながるため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,000	ONSEN・ガストロノミーウォーキングの開催に要する経費に対する補助
合計	3,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第6次岐阜県環境基本計画

基本施策2「資源循環型社会の形成」

基本施策3「美しく豊かな環境との共生」

基本施策5「未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容」

(2) 国・他県の状況

環境省は平成29年7月、温泉地の活性化に向けた提言をとりまとめ、「温泉を中心に、自然環境、歴史・文化、食などの地域資源を活かした元気になれるプログラムの提供が重要」としている。

平成29年度から国内各地で開催。令和元年度には全国で26回開催され6,500名以上が参加。

(3) 後年度の財政負担 無

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村等が自然環境の保全意識の醸成と地域の活性化のために開催するイベントを県が支援することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ONSEN・ガストロノミーウォーキング推進事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、民間団体等 （理由）市町村だけでなく、地元実行委員会による開催が想定されるため。
補助事業の概要	（目的）ONSEN・ガストロノミーウォーキングの県内各地での開催の推進 （内容）市町村等に対し開催経費の一部を支援 プラスチックごみ排出抑制や新型コロナ対策にかかる費用も対象とし、環境に配慮したイベントの推進を図るため、プラスチックごみの削減に取り組む事業については1事業あたりの開催回数を3回とする。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）1／2以内 （理由）事業の立ち上げと定着に重点を置くため。
補助効果	「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の開催による自然環境保全意識の醸成及び地域の活性化
終期の設定	令和5年度 （理由）事業の立ち上げから定着までを支援するため。

(事業目標)

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の県内への普及と定着を推進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
開催回数（累計）	0回	3回	8回	13回	18回	17%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	/	660千円	0千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施予定となっていた5地域の開催が、次年度以降に延期となった。
	指標 目標：8回 実績：3回 達成率：16%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	サステナブルツーリズム (持続可能な観光) として温泉や地域資源の魅力発信を行うため、県内全域に対して当該取組みの浸透を図ることは重要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価) 0	H30年度：1回(高山市)、令和元年度：2回(高山市、中津川市) 令和2年度：0回(コロナの影響で全て次年度以降に延期) 令和3年度開催予定回数：5回
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	第6次環境基本計画の基本施策に掲げた「基本施策5 未来につながる人づくりとライフスタイルの変容」に向けた取組みとして、プラスチックごみの排出削減にも取り組む。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 財政・運営両面における安定的な開催環境の確保と集客の在り方を検討することが必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 環境に配慮したイベントとしていくとともに、定着化を図るため、補助要件を見直す。
